



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学大学院社会学研究科 ジェンダー社会科学研究センター

第28回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ 〈日本占領と性一性暴力、売買春から親密な関係まで〉

2014年11月21日(金)16:30~18:30

於 一橋大学第三研究館研究会議室(東キャンパス)

〈第1レクチャー 16:30~17:15〉

日本占領とジェンダー :

米軍・売買春と日本女性たち

講師: 平井 和子

(本学社会学研究科特任講師: 近現代女性史・ジェンダー史)



「兵士には性的慰安が必要。それを欠くと暴走する」という「男性神話」は、女性を二分化し、軍「慰安所」を作り出す「性の防波堤論」を支えてきた。本報告では、RAAなどの占領軍「慰安所」の全体像と、そこで実施された「日米合作の性管理」が組織的性暴力であったことを明らかにし、女性たちの「出会い直し」の道を探りたい。

〈第2レクチャー 17:15~18:00〉

パンパンとは誰なのか :

キャッチ という占領期の性暴力

とGIとの親密性

講師: 茶園 敏美

(京都大学アジア研究教育ユニット研究員: ジェンダー史・他者表象)



本報告は、占領期のGHQ主導の性病検診が、おんなたちへの性暴力だったことに焦点を当てる。性病検診のために強制的に検挙されたおんなたちは、パンパンという蔑称で、更生や救済の対象として表象されてきた。彼女たち自身のライフヒストリーの記録から、おんなたちの連帯の可能性を呈示し尊厳回復への支援につなげたい。

〈質疑応答 18:00~18:30〉

司会: 佐藤文香(本学社会学研究科准教授: ジェンダー研究)

連絡先: cgrass@soc.hit-u.ac.jp